

地域情報基盤整備に関する 住民アンケート等調査結果

アンケート実施調査の概要

昨年末町民の皆様や、企業の方々に御協力頂いて実施致しました、情報基盤整備に関する住民アンケート調査の集計結果概要がまとまりましたのでお知らせ致します。この調査は、ブロードバンド（高速）通信環境の未整備地域の解消や、オフトーク通信の老朽化に伴う対策、地上波テレビジョン放送がデジタル波に移行することへの対応といった「放送・通信」に関する課題や現状を把握するために行ったもので、今後町のICT（地域情報基盤）整備事業実施時に必要な基礎資料とすることを目的としています。また、町内で事業を展開されている各企業にあっては、ブロードバンドの未整備地域や、環境によって事業にどのような影響があるのか、さらには将来の通信環境についてどのような考えをお持ちなのか調査しました。

調査地域

南部町全域

調査対象と方式

方式 — 自記式調査票郵送法

対象 — 南部町全世帯・

従業員数10名以上の町内企業
(事業所企業統計)

調査期間

住民

平成19年12月 4日(火) — 発送

平成19年12月25日(火) — 回答期限

企業

平成19年12月12日(火) — 発送

平成20年 1月10日(木) — 回答期限

回収状況

※ご回答頂いた詳細は、次のとおりです。

		睦合地区	栄地区	富河地区	万沢地区	地区未回答	合計	事業所
A	発送数	1,208	749	860	423		3,240	48
B	転居先不明 配達不可	7	1	4	3	1	15	0
C	実質発送数 A-B	1,201	748	856	420		3,225	48
D	回収数	670	396	457	263	7	1,793	39
E	回収率 D/C	55.79%	52.94%	53.39%	62.62%		55.60%	81.25%
F	棄権率 (C-D)/C	44.21%	47.06%	46.61%	37.38%		44.40%	18.75%

※なお、両調査の詳細については、南部町ホームページに掲載してあります。

住民

アンケート回収結果

12月25日までに回収した回答票は、1,793枚でした。この1,793件は、率にして55.60%となります。全世帯を対象とした調査では、平成16年8月に実施した「地域情報化推進計画の策定に関するアンケート調査」が、53.99%でしたので、1.61ポイント高いこととなります。地域別に見ると、万沢地区が62.62%と、唯一60%を越え情報基盤整備の早期実現への関心の高さがうかがえます。

一方、事業所へのアンケート調査では、発送数48件中39件が回収出来ましたので、81.25%という大変高い回収率となり、企業においても本町全域のブロードバンド化について高い関心が示されました。

※以下は、ご回答頂いた1,793世帯（住民アンケート）、39事業所（事業者アンケート）についての集計結果です。

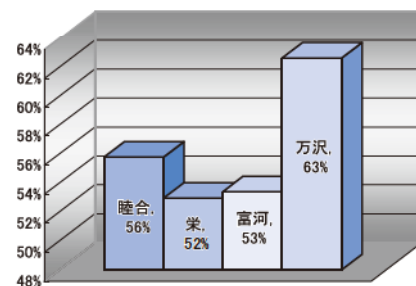
● 基本的な事項について

基本的な事項に関する質問では、送付先が世帯主ということもありお答え頂いた方の77%が男性と言うことになりました。また、53%が60歳以上の方でした。

● 居住地について

万沢地区の63%を筆頭に睦合地区56%、富河地区53%、栄地区52%の順での地区内回収率となりました。

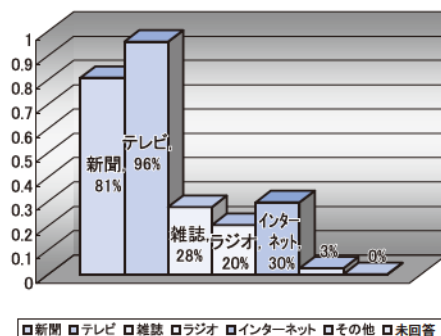
回答者居住地区



● 情報入手手段について

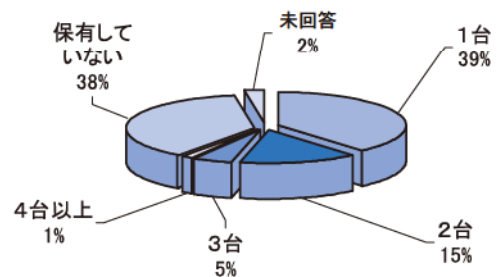
テレビ、新聞によって情報を入手していることは当然予想されますが、30%の世帯がすでにインターネットを利用して情報を入手していることも分かりました。

情報入手手段（複数回答）



● パソコン保有台数について

パソコン保有数

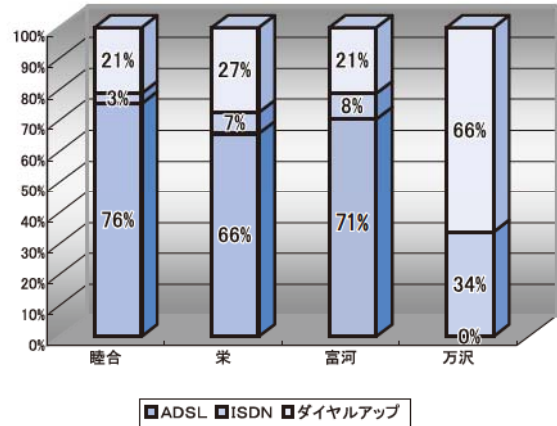


パソコンを保有されている件数はご回答件数比率60%と非常に高い割合が示され、調査対象全世帯との割合でも33%と3割を越える世帯でパソコンを保有されていることが分かりました。

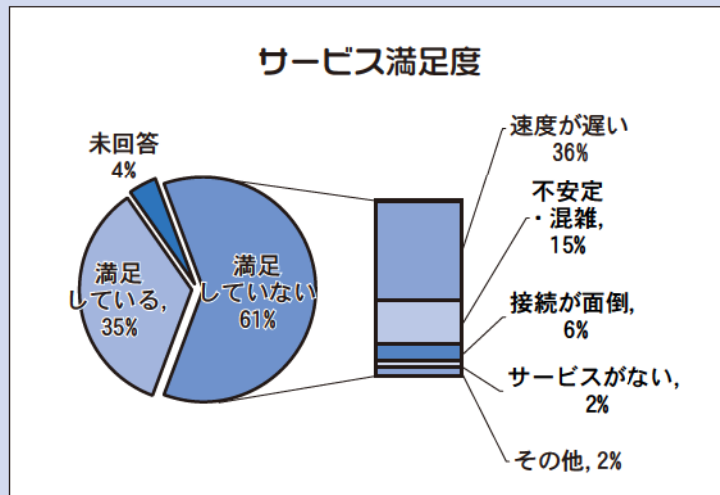
● インターネットへの接続について

パソコン保有世帯の内69%の世帯がインターネットへ接続しています。接続方法としては、回答者全体の中ではADSL回線が61%で最も多く、次いでダイヤルアップ、ISDNの順でした。しかし、ADSL回線が利用できる地域の中でもISDN、ダイヤルアップでの接続が約3割利用されています。これは居住している地域がブロードバンド化されていることの情報を得ていないのか、それとも料金的な問題なのかは現在は不明です。ただし、ADSLが利用可能なことについての啓発は必要と思われます。

インターネット接続方法（地区別）



● 接続サービスの満足度について



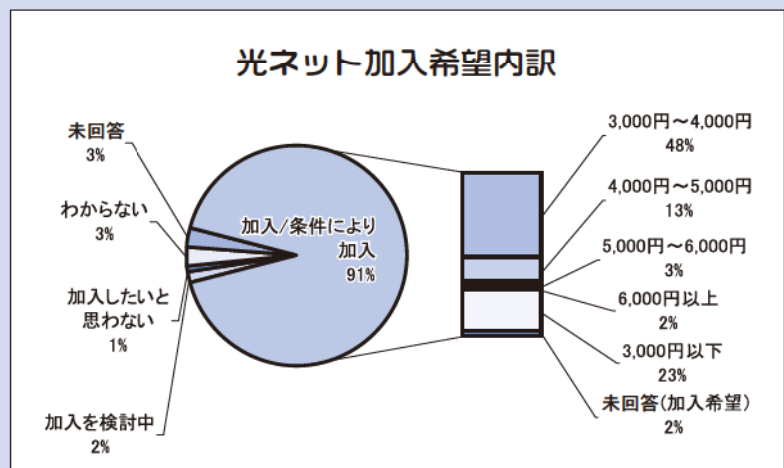
インターネット接続をしている方の内61%の方が不満と答えています。その理由としては、速度が遅いことが最も多く36%の方が感じています。また満足していないと答えた方の中、ADSL回線利用者が、3割を越えることも、今後の整備計画について検討が必要となります。

その反対に満足していると答えた方は、35%となっています。

● 光ファイバによるインターネットへの加入について

接続サービスに満足していないとお答えになった方にお訪ねしました。「加入してみたい」、「内容によっては加入したい」、「加入を検討中」と前向きにお考えの方は91%で、大多数の方が光によるサービスを望んでいることが分かりました。

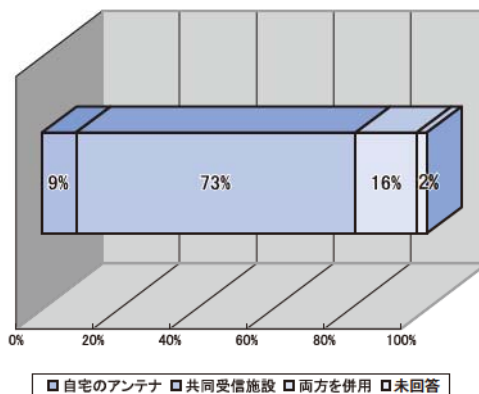
その反面、月額負担については4,000円までが48%、3,000円以下が23%で、民間商品には無い低廉な価格でなければ加入しないことも分かりました。



● テレビの受信方法について

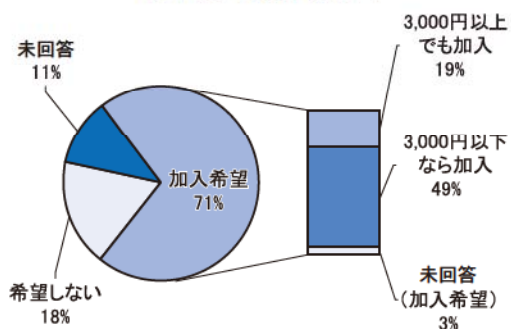
各家庭でのテレビ受信方法は、89%が共同受信をしています。今後共聴組合の在り方や、地上デジタル波放送への移行について、CATV事業の整備も含めて検討を加える必要があります。

テレビ受信方法



● CATVへの加入希望について

CATV加入希望



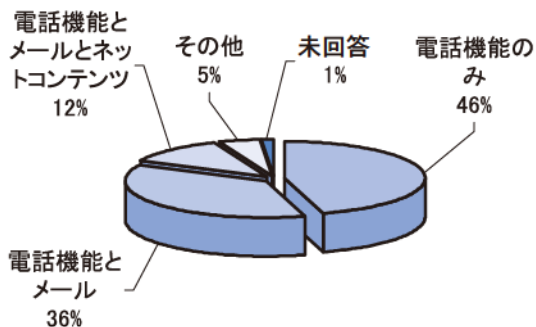
町が光ファイバによるCATVを整備した場合、約7割が加入を希望するという回答が得られました。しかしながら、3,000円以下なら加入したいと回答した世帯が、49%と、3,000円以上でも加入したいと回答した世帯、19%を大きく上回り、負担に対する考え方に温度差があることが分かりました。また、加入したくないと回答した世帯は、18%という結果でした。

CATV事業では、維持管理費が大きく必要となるので、費用負担について住民とコンセンサスをしっかりとりとることが必要となってきます。

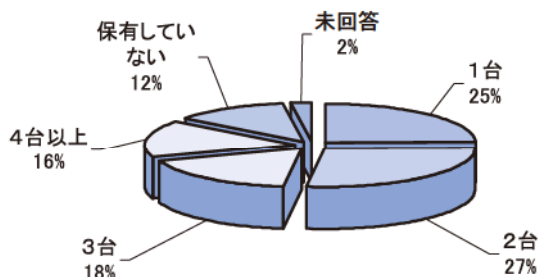
● 携帯電話の利用状況について

町内にはまだ一部地域が不感地帯となっていますが、平成20年度以降順次解消されていく予定となっています。

携帯電話利用内訳



携帯電話保有数



保有状況については、1,533世帯、86%が携帯電話を保有しています。また6割以上の世帯で複数台を保有している状況も分かりました。

電話機能はもちろんのことですが、保有者の内812世帯、5割以上の方がメール機能を利用することが分かりました。

事業所

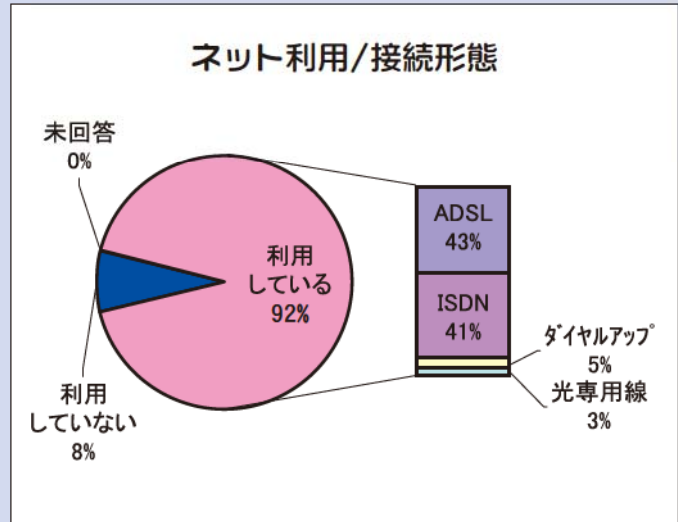
● インターネットへの接続について

企業においては92%の事業所がインターネットを利用しています。

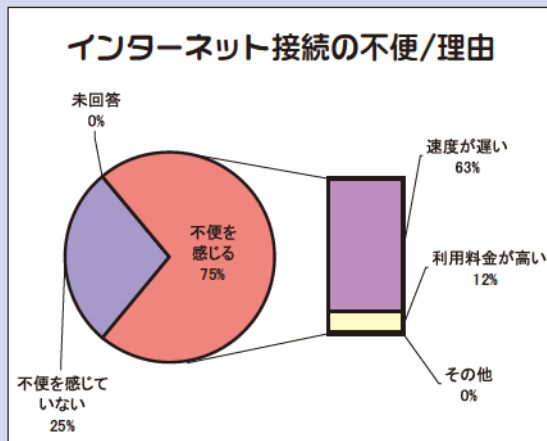
内、業務上の必要性から事業所が光専用回線を契約している企業も3%ありました。

8%の事業所についてはインターネットを利用せず、その理由として必要性を感じていないと回答しています。

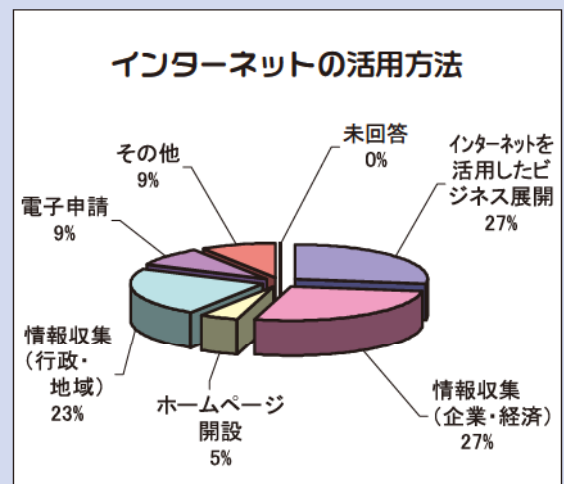
ただし住民アンケート同様、ADSL利用可能エリアにもかかわらず何らかの理由により低速回線を利用している事業所が27%ありました。



● 接続サービスの満足度について



インターネットを利用している事業所の内、75%が、不便を感じていると回答しています。内63%の事業所が速度が遅いことを理由にあげ、12%の事業所が料金が高額であることに不満を感じていることがわかりました。



● インターネットの活用方法

企業としてのインターネットの活用方法については、ビジネス展開や情報収集に利用したいことがわかり、9%の事業所では電子申請についても検討されています。

● 必要伝送速度と費用負担について

企業としては、100Mbps程度以上の速度を希望するところが最も多く、費用については、3,000円程度が負担可能と回答するところが最も多いものの、10,000円を超えても光を望む回答も10%ありました。

